

女子決勝						
2022年9月25日(日) 12:00~						
会場 美幌スポーツセンター						
結果	斜里町立斜里中	57	10 19 12 16 -	- - - - -	15 9 9 8	41 北見市立小泉中
審判	主審	伊藤 浩司	副審	増子 昌元	味噌 小夏	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

斜里町立斜里中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	笠井 菜弛	×	2		2		1		1
5	安田 詞香	×	21	3	6		6		
6	小関 都摘	×	9	1	3		4	1	1
7	石垣 和奏								
8	奥泉 藍瑠	×	20	4	4				1
9	鈴木 悠華	×	3	1					1
10	本間 さくら								
11	0								
12	0								
13	0								
14	0								
15	0								
16	0								
17	0								
18	0								
C	室本 百合菜								
合計			55	9	15	0	11	1	4

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	岡田 望愛	×	6		3		1	1	1
5	佐々木 碧	×	14	2	4		4		4
6	小松 由衣	×	2		1		1		
7	横山 怜奈	×	4		2		1		1
8	長瀬 莉麻	×	12		6	1	2		
9	0								
10	谷 日葵								
11	平野 流雫								
12	沖崎 花恋	/	2		1		1		
13	福田 奈央	/							
14	土田 春日								
15	0								
16	0								
17	0								
18	0								
C	岩本 竜育								
合計			40	2	17	1	10	1	6

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

1Q
北見市立小泉中学校④⑤⑥⑦⑧、斜里町立斜里中学校④⑤⑥⑦⑧、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスからスタート。先制点は小泉中⑧のドライブアップシュート。さらにウイングからのバックカットプレーでシュートチャンスをねらう。対する斜里中は⑧の切れ味鋭いドライブと⑥のリバウンドからのシュートで得点、序盤の主導権争いが始まる。残り4分、小泉中1回目のタイムアウト。両チームともにディフェンスからチャンスを作り、速攻へとつなげたい意図が伺えるが、なかなか均衡が破れない。6-8で斜里中リードの残り2分、小泉中はカバーディフェンスから積極的にWチームをしかけることに成功し、速攻が効き始める。④のドライブからのクロスショット、⑤のスリーが決まり、小泉中が13-10でリードを奪い返す。斜里中は落ち着いた⑧のボールコントロール、ドライブ&キックでシュートチャンスを作るがオフェンスリバウンドをとることができず、15-10小泉中リードで1Q終了。

2Q
両チームともメンバーチェンジはなし。開始1分、斜里中⑧のスリーを皮切りに流れが変わり始める。ターンオーバーから④、⑤の連続得点で15-17と逆転に成功。残り6分、小泉中はすかさずタイムアウト。小泉中はアウトサイドシュートを中心に打開しようと試みるが、斜里中のリバウンドを回収され、斜里中の速いボールキャリアーにファウルが鳴ってしまう。斜里中⑥のステップインシュートで17-21、残り4分。小泉中は斜里中⑤のディフェンスリバウンドからのドライブを止められず、そのままシュートに運ばれてしまう。お互いに一進一退の攻防が続く中、小泉中⑤のスリーが決まる。22-23斜里中のリードわずか1点。小泉中は斜里中のドライブからのスピントーンを予測し、簡単にシュートを打たせない。斜里中はドリブルハンドオフでチャンスを伺いながら、突破口を開こうとする。斜里中⑥のスリーが決まり24-29、両チームの堅守が光る、斜里中5点リードで前半を終了した。

3Q
開始1分、斜里中がオールコートでプレッシャーをかける。簡単にエントリーパスを出させず、24秒オーバータイムに成功。小泉中は⑤の冷静なボールコントロールから⑧のドライブで連続加点、流れを阻止すべく奮闘する。残り4分、30-32で斜里リード。斜里中⑤のスリー、オフェンスリバウンドから少しずつ点差が広がる。その差9点。巻き返したい小泉中だが、得意とするアウトサイドシュートがなかなか決まらない。残り30秒、小泉中は12が落ち着いてゴール下のシュートを決め33-39とするが、その後すばやいスローインからバスケットカウントで得点を返され、3Q終了。33-41斜里中リードで最終Qへ。

4Q
開始すぐ小泉中のバックドアプレーで④が反撃ののろしをあげる。対する斜里中は⑤⑥のインサイドプレー、⑧⑨のスリーで小泉中のディフェンスを崩しにかかる。残り5分、斜里中のリードが12点となったところで小泉中はタイムアウト。PGの斜里中⑧にプレッシャーをかけ、速攻へと展開を試みるが、斜里中もオールコートで応戦、両チーム我慢の時間が経過する。残り3分、小泉中タイムアウト。37-49斜里中リード。小泉中はスリーを中心に、何とか点差を縮めようとするが、得点に結びつけることができない。斜里中はオフボールスクリーン、カッティングを織り交ぜながら加点。残り1分39-54。小泉中はオールコートマンツーマンディフェンスで激しくプレッシャーをかけるが、最後までオフェンスの脚を動かし続けた斜里中が最終スコア41-57、ノーシードから見事優勝に輝いた。斜里中はインサイドの合わせ、小泉中はカットプレーにさらなる磨きをかけ、両チームの全道大会での活躍を期待したい。

北見市立北中学校 蛸名 智規

男子決勝					
2022年9月25日(日) 13:20~					
会場	美幌スポーツセンター				
結果	北見市立南中	66	16 - 16 20 - 17 10 - 19 20 - 16 -	68	北見市立小泉中
審判	主審	齊藤 未世志	副審	田村 亮太	豊田 修司



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

北見市立南中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	國方 大志								
5	齊藤 琉星	×	5	1	1		1		
6	高橋 瑛大	×	6	2					
7	前田 貫太								
8	保科 好良	×	22	2	8		3	3	1
9									
10	佐々木 煌生	×	18	1	6	3		1	2
11	伊藤 一鷺	×	14	2	3	2	2	1	1
12	森 秀野	/	1			1			1
13	小野 蒼汰								
14	井上 颯人								
15	青木 蓮								
16									
17									
18	中原 正人	/	0						
C	大浦 幸一								
合計			66	8	18	6	6	5	5

北見市立小泉中									
NO	選手氏名	PI-in	得点	3P	2P	FT	DR	OR	反則
4	河合 柚太	×	11	1	4		4	3	1
5	太田 陽翔	/	2		1				
6	南 耀太								
7	上杉 純矢	×	15	1	6			2	4
8	十倉 稜空	×	5	1	1		4		1
9	山内 海凜	×	23	5	4		3		3
10	澤田 然太								
11	信本 律斗								
12	小山田 琉	×	12	1	4	1	5		1
13									
14	佐々木 広太郎								
15									
16	竹中 優騎								
17	神戸 凱成								
18	渡辺 楓太								
C	岩本 竜育								
合計			68	9	20	1	16	5	10

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー DR=ディフェンスリバウンド OR=オフェンスリバウンド

【ゲームレポート】

【1P】
小泉中④⑦⑧⑨⑫、南中⑤⑥⑧⑨⑪両チームともハーフマンツーフでスタート。小泉は⑫のドライブで先制、対する南も⑧のドリブル速攻で加点する。南は得意の外角シュートがさえる。⑤の3ポイントで加点、空いたスペースを⑧⑪のドライブで攻め込み、バランスよく攻撃し、リズムに乗る。対する小泉は、タイムアウト後、Defのギアを入れなおす。ペイント付近のドライブに対し、Wチームで体を張り、⑧を中心にリバウンドを確実に回収し、速攻につなげる。⑦のオフェンスリバウンドシュート、⑨の3ポイントも光り、16対16で終了。

【2P】
小泉はUCLAカットから⑨の3ポイントが決まる。南も⑥の3ポイントで加点。両チーム、足を生かしたDefで簡単にシュートを決めさせない。小泉は⑫を起点にパスを回しながらスペースを作り、⑨の3ポイントで加点、対する南も⑧の飛び込みリバウンドからのゴール下シュート、緩急を使った⑩のドリブル速攻で連続得点。対する小泉も、⑨の3ポイントで粘りを見せる。36対33南リードで終了。

【3P】
南は小泉⑧のインサイドを抑えようと、⑩が体をはったDefを見せる。⑩の3ポイントも決まり、一気にチームのムードが高まる。小泉は外角のパスが多くなり、インサイドの起点を失い、タフショットが続く。しかし小泉は、ここでもDefのギアをあげて、ペースを奪い返す。③④のリバウンドを起点に、速攻をしかけ、⑧⑫の3ポイント、⑨のドライブと連続得点で一気に逆転をする。南も⑪の1対1、⑧を起点とした⑪のバックドアプレイで加点するも、小泉のDefの強度に、得意の3ポイントが決めきれない。小泉は⑧のパワープレイから④の3ポイント、⑨のブザービーター3ポイントと波に乗ったピリオドとなった。52対46、小泉リードで終了。

【4P】
小泉は出だしから、足を使ったDefで南にプレッシャーをかけ続ける。⑧のリバウンドからの連続速攻で加点。残り7:01 56対46、小泉リードで南タイムアウトをとる。タイムアウト後、南は5アウトでスペースをあげ、⑩のペイントアタックでシュートを狙うもリングに嫌われてしまう。小泉は気迫のあるDefとリバウンドで主導権を渡さない。④⑫の速攻で加点していく。後がなくなった、南は残り3分強からオールコートプレスDefをしかける。リズムを崩した小泉は、ここで連続してターンオーバーを犯し、南⑪の連続得点を許す。小泉の早攻めの隙を狙い、リバウンドからの速攻、⑩の3ポイントと勢いを取り戻す。しかし、小泉は⑧⑨の3年生が冷静に状況を把握してゲームをコントロールする。68対66で小泉の勝利。両チームとも心技体共にレベルの高い好ゲームとなった。審判、オフィシャル、観客も含めて、緊張感のある素晴らしい試合でした。

北見市立光西中学校 大槻 武